

地域貢献活動支援報告書

三重大学地域社会連携研究センター長 殿

所属 教育学部
氏名 魚住明生

活動テーマ	地域の子どもたちへの科学技術啓蒙活動 —ロボコン体験教室の開催を通して—
実施期間	平成23年6月1日(水)・7月6日(水) 平成23年8月24日(水) ~ 平成23年8月27日(土) 平成23年11月12日(土) 平成23年11月19日(土)・20日(日) 平成23年12月18日(日)
活動内容	<p>① 具体的な活動実施内容</p> <p>三重県内各地から参加した小・中学生が、抽選でチームを編成し、3泊4日寝食を共にして、ロボット製作に生き生きと取り組んだ。これに関わる指導は、県内中学校教員と三重大学教育学部技術科の学生が生徒と同じく寝食を共にして担当した。4日間の製作で、ほとんどのチームが様々な工夫されたロボットを完成させることができた。</p> <p>成果大会では、多くの保護者や一般参観者が集まり、盛大に大会が行われた。多くの参観者から小・中学生のロボットに感心の声が寄せられた。</p> <p>さらに、ロボット製作キャンプで製作したロボットを活用し、津市立栗真小学校への出前授業や三重県中学生ロボコンへの出展展示、三重大学科学の祭典への出展等、県内各地において活動を行った。</p> <p>②地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>終了後のアンケート（「実施報告書」pp.50-52）において、参加生徒並びに保護者のほぼ全員が本事業に満足していることが示された。このことから、本事業が目的とした青少年の科学技術への興味の喚起は十分に達成できたと考えられる。事業終了後、各方面から来年度の開催を望む声が多く寄せられており、さらに地域への貢献が期待できる。</p> <p>③共同実施者との連携状況</p> <p>共同実施者とは、メーリングリストにより、密接に連絡を取りながら分担された業務を行った。具体的には、三重県、津市、四日市市においては報道機関等への広報を、津市においてはさらに合宿に関わる関係機関との調整を行った。これらの連携により、企画、運営を通してスムーズに事業を行うことができた。</p> <p>④大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>教育面では、前年度と同様に、三重大学教員・学生、並びに三重県内中学校技術科の教員が連携して行うことにより、参加した学生は、間近に現職教員の指導を見ることができると共に、生徒への指導の在り方について直接助言を得ることができた。このことは、将来教職を志す学生にとって大きな財産になったと考えられる。</p> <p>研究面では、ものづくり教育における支援について究明するために、ロボット製作キャンプに参加した児童・生徒を対象に、ものづくりにおける不安に関</p>

するアンケート調査を実施し、検討した。その結果、製作への見通しを持たせることにより不安を軽減できるなど数余の知見を得ることができた。

⑤イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

・ロボット製作キャンプ

日 程：2011年8月24日(水)～27日(土)：3泊4日

会 場：津市青少年野外活動センター

参加者：児童・生徒34名，学生19名，中学校教員9名

※詳細は「実施報告書」を参照。

・成果発表会

日 時：2011年8月27日(土)

会 場：サンバレー・津南ショッピングセンター特設会場

参加者：児童・生徒34名，学生19名，中学校教員9名，

参観者約100名

※詳細は「実施報告書」を参照。

・出前授業

日 時：2011年6月1日(水)・7月6日(水)

会 場：津市立栗真小学校

参加人数：小学校6年生14名，学生8名，小学校教員1名

※詳細は「地域連携報告書」抜粋を参照。

・成果発表展示

日 時：2011年11月12日(土)

会 場：伊勢市立厚生中学校体育館（中学校技術・家庭科創造アイデアロボットコンテスト三重県大会でのブース展示）

参加者：中学生約200名，学生13名，教員25名

・イベント（科学の祭典）への出展

時：2011年11月19日(土)・20日(日)

会 場：三重大学三翠会館

参加人数：幼児・小学生約120名，学生15名，参観者約800名

※詳細は「科学の祭典パンフレット」抜粋を参照。

・ロボコン体験教室の開催

日 時：2011年12月18日(日)

会 場：ララスクエア四日市4階特設会場

参加者：幼児・小学生約50名，学生8名，参観者約200名

※「実施報告書」につきましてはメールにて送付できませんので，学内便でお送りします。